

令和7年度当初予算の要求概要

企業局

企業局では、「長野県公営企業経営戦略（令和3年3月改定 計画期間：令和3～7年度）」における基本目標である「水の恵みを未来へつなぐ」を具現化し、社会環境の変化や直面する課題に迅速かつ的確に対応するとともに、「しあわせ信州創造プラン3.0」を推進するための予算を要求しています。

なお、企業局は、地方公営企業法の規定に基づき予算の編成等を行い、また各事業に係る経費は主に料金収入により賄っているため、一般会計とは公表形式が異なっていますので、御了承ください。

- 注) 1 収益的収支は、主に営業活動に係る収入及び支出を表します。
また、支出額には減価償却費等の現金支出を伴わないもの（損益勘定留保資金）を含みます。
- 2 資本的収支は、主に設備投資に係る収入及び支出を表します。
なお、収入が支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。
- 3 損益は、収益的収支の差額から消費税相当額を控除したものです。

1 要求の概要

【電気事業】

(1) 収益的収支 (消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 要求額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	7,174,674千円	5,866,107千円	1,308,567千円	122.3%
支 出①	6,393,607千円	4,918,965千円	1,474,642千円	130.0%
差 額 (損 益)	781,067千円 (265,662千円)	947,142千円 (△ 523,443千円)	- (789,105千円)	- (-)

(※)令和6年度の損失については、留保している利益積立金で補てんするため、繰越欠損金は発生しない予定です。

(2) 資本的収支 (消費税込み)

区 分	令和7年度 要求額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,747,279千円	13,768,000千円	△ 9,020,721千円	34.5%
支 出②	8,210,191千円	18,008,837千円	△ 9,798,646千円	45.6%
差 額	△ 3,462,912千円	△ 4,240,837千円	-	-

支出総計①+②	14,603,798千円	22,927,802千円	△ 8,324,004千円	63.7%
---------	--------------	--------------	---------------	-------

(3) 要求のポイント

〔収益的収支〕

収入については、大規模改修中の美和・春近発電所（伊那市）、豊丘ダム発電所（須坂市）及び新規建設中の越百のしずく^{こすも}発電所（飯島町）の運転開始による電力料金収入の増加から、増額計上しました。

支出については、上記発電所の運転開始に伴う減価償却費の増加等から、増額計上しました。

〔資本的収支〕

収入については、建設改良費の減による企業債借入額の減少から、減額計上しました。

支出については、美和・春近発電所の大規模改修の完了等による建設改良費の減少から、減額計上しました。

(4) 主要事業の概要

経営の安定と再生可能エネルギーの供給拡大に向けて、FIT・FIP制度を活用した新しい水力発電所の建設に積極的に取り組むとともに、老朽化した基幹発電所の大規模改修等を着実に推進します。

また、企業局のこれまでの知見を活かし、市町村等への水力発電所開発支援やAI・IoTを活用した運転管理のスマート化の推進等の重点事業に取り組めます。

(消費税込み)

	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和7年度要求	令和6年度当初	
発 電 所	26所	25所	○水力発電設備整備費 5,985,252千円 ・大規模改修工事（豊丘ダム 以下5か所）
最 大 出 力	109,289kW	105,051kW	・新規発電所の建設推進（越百のしずく 以下4か所） ・AI・IoTを活用したスマート化の推進
年間販売電力量	395,042千kWh	267,294千kWh	○地域連携水力発電マイクログリッド構築事業 9,900千円 ○市町村等の水力発電所開発支援 54,400千円
料 金 収 入	6,615,815千円	3,817,446千円	○水素ステーションの実証 48,889千円 ○一般会計への繰出し 50,000千円 (こどもの未来支援積立金から)
建 設 改 良 費 (債務負担行為設定額)	6,046,362千円 (15,938,726千円)	16,921,943千円 (10,551,986千円)	

【水道事業（末端給水事業）】

(1) 収益的収支 (消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 要求額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,151,079千円	4,155,050千円	△ 3,971千円	99.9%
支 出①	3,946,686千円	3,961,830千円	△ 15,144千円	99.6%
差 額 (損 益)	204,393千円 (11,572千円)	193,220千円 (12,400千円)	- (△ 828千円)	- (93.3%)

(2) 資本的収支 (消費税込み)

区 分	令和7年度 要求額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,561,683千円	1,516,168千円	45,515千円	103.0%
支 出②	4,033,369千円	3,833,485千円	199,884千円	105.2%
差 額	△ 2,471,686千円	△ 2,317,317千円	-	-
支出総計①+②	7,980,055千円	7,795,315千円	184,740千円	102.4%

(3) 要求のポイント

〔収益的収支〕

収入については、工事負担金の減少等から、減額計上しました。

支出については、燃料調整費の減による動力費の減少等から、減額計上しました。

〔資本的収支〕

収入については、建設改良費の増による企業債借入額の増加から、増額計上しました。

支出については、施設・管路の老朽化対策に係る建設改良費の増加から、増額計上しました。

(4) 主要事業の概要

水道施設の維持管理を行うとともに、老朽化対策及び耐震化の推進や「安心の蛇口」の整備などの建設改良工事を計画的に実施し、安全・安心、安定的な水道水の供給体制の整備に努めます。

また、持続可能な経営体制の構築に向けて、末端給水事業の関係市町等との水道事業の広域化の推進や、県内の市町村等水道事業者への支援に取り組みます。

(消費税込み)

業 務 量 等	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和7年度要求	令和6年度当初	
給 水 戸 数	81,193戸	80,948戸	○建設改良費 2,504,093千円 ・主要管路の耐震化
年 間 総 給 水 量	18,933千m ³	18,995千m ³	・施設、設備の更新
1 日 平 均 給 水 量	51,869m ³	52,039m ³	・有収率向上対策
料 金 収 入	3,625,719千円	3,624,081千円	・施設のダウンサイジング
建 設 改 良 費 (債務負担行為設定額)	2,504,093千円 (1,024,000千円)	2,335,889千円 (1,159,000千円)	・「安心の蛇口」の整備 ○広域化の推進 37,219千円

【水道事業（用水供給事業）】

(1) 収益的収支 (消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 要求額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,551,210千円	1,512,511千円	38,699千円	102.6%
支 出①	1,432,748千円	1,450,959千円	△ 18,211千円	98.7%
差 額 (損 益)	118,462千円 (5,818千円)	61,552千円 (11,206千円)	- (△ 5,388千円)	- (51.9%)

(2) 資本的収支 (消費税込み)

区 分	令和7年度 要求額(A)	令和6年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	807,000千円	315,000千円	492,000千円	256.2%
支 出②	1,438,170千円	744,553千円	693,617千円	193.2%
差 額	△ 631,170千円	△ 429,553千円	-	-
支出総計①+②	2,870,918千円	2,195,512千円	675,406千円	130.8%

(3) 要求のポイント

〔収益的収支〕

収入については、消費税及び地方消費税還付金の増加から、増額計上しました。
支出については、燃料調整費の減による動力費の減少等から、減額計上しました。

〔資本的収支〕

収入については、建設改良費の増による企業債借入額の増加から、増額計上しました。
支出については、施設・管路耐震化に係る建設改良費の増加から、増額計上しました。

(4) 主要事業の概要

水道施設の維持管理を行うとともに、老朽化対策及び耐震化を計画的に実施し、安全・安心、安定的な水道用水の供給体制の整備に努めます。

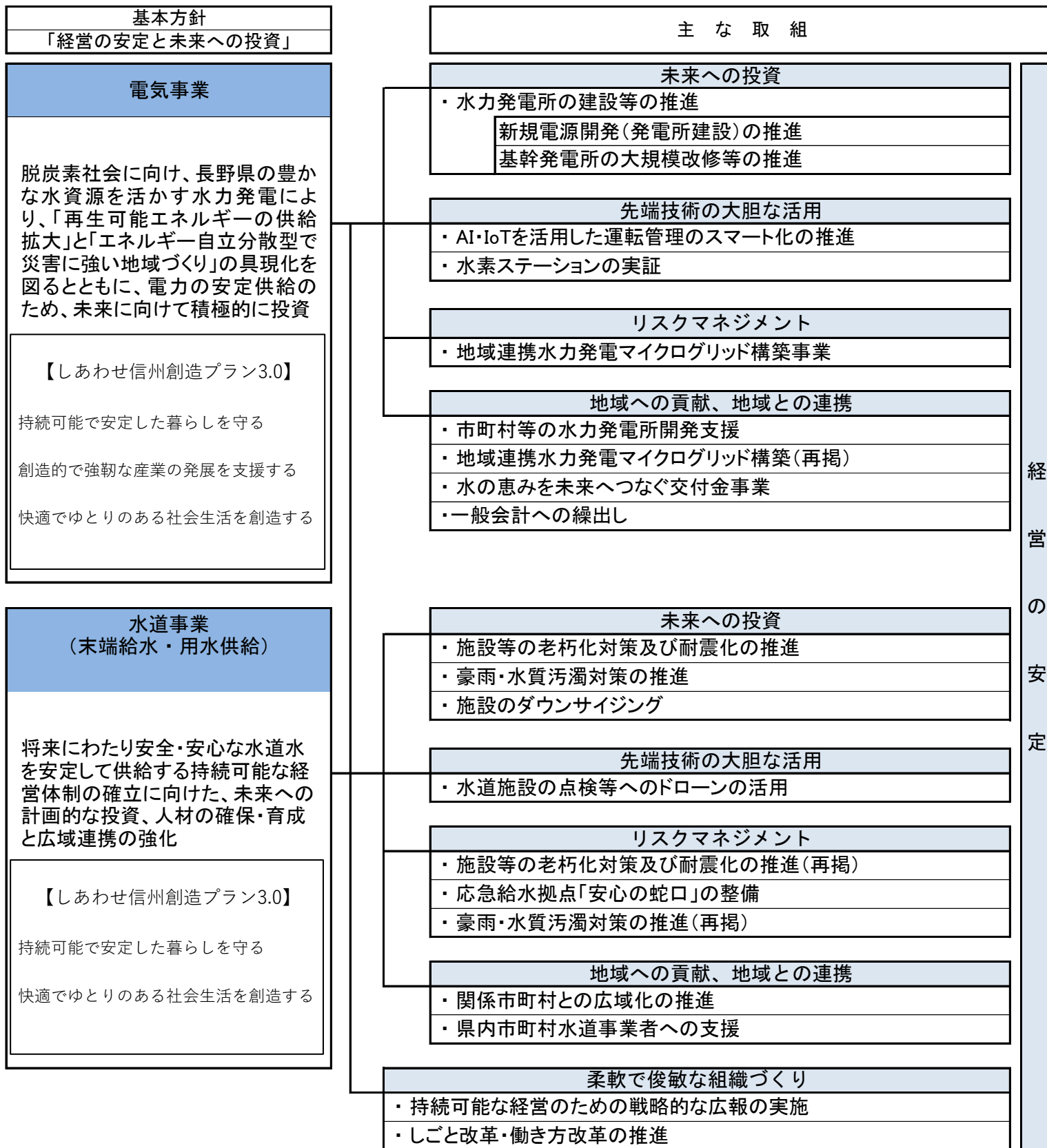
また、豪雨時の原水の濁度上昇等による取水制限リスクを低減するため、片平取水場の取水機能強化対策を推進します。

(消費税込み)

業 務 量 等	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和7年度要求	令和6年度当初	
年間総供給量	29,565千m ³	29,565千m ³	○建設改良費 1,242,532千円
1日平均供給量	81,000m ³	81,000m ³	・施設及び管路の耐震化 本山浄水場排水処理施設耐震化工事ほか
料金収入	1,443,954千円	1,443,954千円	・設備の更新 急速ろ過設備制御盤更新工事ほか
建設改良費 (債務負担行為設定額)	1,242,532千円 (369,536千円)	555,794千円 (470,000千円)	・豪雨・水質汚濁対策の推進 片平取水場機能強化 ○水道施設の点検等へのドローンの活用 10,780千円 ○広域化・広域連携の推進 5,500千円

2 令和7年度企業局事業体系

基本目標 『水の恵みを未来へつなぐ』



3 事業改善シート

県公式ホームページをご覧ください。

URL : <https://www.pref.nagano.lg.jp/kigyo/kensei/soshiki/yosan/r7/r7ichiran.html>

予算要求に関する御意見・御要望については、企業局経営推進課財務係へ令和7年1月16日(木曜日)までにお寄せください。





E-mail : kigyo@pref.nagano.lg.jp

4 主要事業一覧

※【新】:新規事業
 【地】:地域振興局長からの提案、意見等反映事業

企業局

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)		
1 電気事業 [130101]   	<p>新規電源開発地点発掘PJによる新規発電所建設、既存発電所の大規模改修及び県管理ダムを活用などにより、経営の安定を図るとともに、再生可能エネルギーの供給拡大に取り組みます。</p> <p>1 未来への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規発電所の建設 4,499,023 千円 ・ 新規電源開発地点の調査 49,390 千円 ・ 既存発電所の大規模改修 (豊丘ダム以下5か所) 453,245 千円 <p>2 先端技術の大胆な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI・IoTを活用した運転管理のスマート化の推進 34,616 千円 ・ 水素ステーション実証事業 48,889 千円 <p>3 リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携水力発電マイクログリッド構築事業 9,900 千円 <p>4 地域への貢献、地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村等の水力発電所開発支援 54,400 千円 ・ 地域連携水力発電マイクログリッド構築事業(再掲) 9,900 千円 ・ 水の恵みを未来へつなぐ交付金事業 46,420 千円 ・ 一般会計への繰出し(こどもの未来支援積立金) 50,000 千円 		
企業局	R7要求 [債務負担行為額]	14,603,798 [15,938,726]	R6当初 22,927,802

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
2 末端給水事業 [130102]  	<p>水道施設等の老朽化対策及び耐震化の計画的な推進などにより、経営の安定と危機管理体制の強化を図るとともに、持続可能な経営体制の構築に向けた水道事業の広域化等に向けた検討や、県内市町村等水道事業者への支援に取り組みます。</p> <p>1 未来への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設、設備及び基幹管路の老朽化対策の推進 1,396,167 千円 ・ 基幹管路の耐震化の推進 537,000 千円 ・ 施設のダウンサイジング 33,000 千円 <p>2 リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急給水拠点「安心の蛇口」の整備(3か所) 15,000 千円 <p>3 地域への貢献、地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上田長野地域における広域化等に向けた検討 37,219 千円 			
企業局	R7要求 [債務負担行為額]	7,980,055 [1,024,000]	R6当初	7,795,315
3 用水供給事業 [130103]  	<p>水道施設等の老朽化対策及び耐震化の計画的な推進などにより、経営の安定と危機管理体制の強化を図るとともに、関係市村との広域化・広域連携の検討を推進します。</p> <p>1 未来への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の老朽化対策の推進 133,461 千円 ・ 施設及び管路の耐震化の推進 922,120 千円 ・ 豪雨・水質汚濁対策の推進 60,000 千円 <p>2 先端技術の大胆な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道施設の点検等へのドローンの活用 10,780 千円 <p>3 リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨・水質汚濁対策の推進(再掲) 60,000 千円 <p>4 地域への貢献、地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松本地域における広域化・広域連携の検討 5,500 千円 			
企業局	R7要求 [債務負担行為額]	2,870,918 [369,536]	R6当初	2,195,512